

1. 基本情報						
事務事業番号	02178	事務事業名	霧島ジオパーク推進事業	担当部	商工観光部	
政策名	005	きょうどう（市民とつくる協働と連携のまちづくり）		担当課	霧島ジオパーク推進課	
施策名	004	市の魅力と価値を高める多角的施策の展開		担当課長	竹下 淳一	
基本事業名	001	ジオパーク活動の推進		グループ	霧島ジオパーク推進G	
予算科目目	会計 一般会計 款 07 商工費 項 01 商工費 目 06 霧島ジオパーク推進費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返（開始年度 平成20年度 ~ ） 期間限定複数年度（ ~ ）			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	なし	
				関連計画	なし	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細を記述）
 霧島ジオパーク推進連絡協議会の事業運営費として負担金を交付する。
 霧島ジオパーク推進連絡協議会（以下「協議会」という。）：平成20年10月に、環霧島地域を組織する地域（以下「環霧島地域」という。）の美しい地質遺産を、地域住民、行政等が連携して保護・研究し、教育的活用やジオツーリズムの場として利用できる環境整備を行うことにより、地域社会の活性化に寄与することを目的として設立された。
 負担金は宮崎県都城市・高原町・小林市・えびの市、鹿児島県霧島市・曾於市の5市1町から人口割り20%、均等割り80%で算出し、毎年度協議会に対し支払っている。
 協議会の事業は、環霧島地域における自然保護に関する事業、地質学的・生態学的調査研究に関する事業、ジオパーク資産を利用した教育啓発及び観光に関する事業、地域連携や情報発信等に関する事業等で、特定の政策・施策に限られたものではない。

活動指標（事務事業の活動量）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（見込）	令和2年度（見込）	令和3年度（見込）
ア 負担金を交付した団体数	団体	1	1	1	1
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象（誰、何を対象にしているのか）	対象指標（左記対象の大きさを表す指標）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（見込）	令和2年度（見込）	令和3年度（見込）
ア 市民	市民数	数	124,785	126,230	124,367	124,181
イ 学校	学校数	校	55	55	55	55
ウ						

意図（対象をどうしたいのか）	成果指標（左記意図の達成度を表す指標）	単位	平成30年度（実績）	平成31年度（目標）	令和2年度（目標）	令和3年度（目標）
ア ジオパークのことを知ってもらおう	ジオパークの認知度	%	0	98	0	98
イ ジオパークの活動に参加してもらおう	ジオパーク活動への参加率	%	0	14	0	14
ウ ジオパークを教育活動に活用してもらおう	ジオパークについての教育	校	27	25	21	27

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針（総合計画より）
 出前講座やフォーラム、モニターツアーなどを開催し、ジオパークの認知度向上を図るとともに、ジオパークの目的である地域の持続可能な発展を目指し、関係機関や民間団体と連携しながら、地域資産の保全、教育や観光への活用、防災への取組みを推進します。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容（取り組むべき課題）
 平成31年度定例総会において、現行のジオパークエリアを各自治体全域へのエリア拡大にすることが決定した。これにより、今後事業全体が膨らむことになる。構成自治体に職員派遣を求めるなど人員配置の見直しや、構成自治体及び関係団体との業務の役割分担など、如何に効率良く運用していくが検討すべきである。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度決算	31年度		2年度当初予算	3年度計画
			当初予算	決算		
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	0	0	0	0	0
一般財源	千円	1,337	1,496	1,251	1,222	1,500
事業費	千円	1,337	1,496	1,251	1,222	1,500

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績（取組） <取組内容を数値等により具体的に記載>		(2) 平成31年度の成果 <左記の実績（取組）による成果を記載>	
協議会実績	子ども交流事業（三島村、鹿児島市 7人） 子ども火山スクール(霧島自然ふれあいセンター 13人) 授業支援（市内各小中学校、高校 21回） イベントブース出展 例会、ガイド研修を開催	協議会成果	幹事会と懇談会の同時開催など、これまでより活発な議論が行える体制づくりを行った。さらに、各団体への支援や啓発によるジオツーリズムの推進や国分高校のSSH事業への運営指導による教育・人材育成、国際会議等での霧島ジオパークの活動発表やポスター発表による国際交流の推進などを行った。
・PR事業	アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウム（インドネシア） 漢灘江ジオパークセンター開会式典（韓国）		
・ガイド研修	全国大会（おおいた大会） 九州GPネットワーク会議（霧島GP、桜島・錦江湾GP）		
・国際会議参加	各構成市町の関係団体と連携したツアー、 トレッキング等		

事務事業 番号	02178	事務 事業名	霧島ジオパーク推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	霧島ジオパーク推進課

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公 平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		理由
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		A ジオパーク活動は、官民一体となって地質遺産を保護・研究し、教育や観光、防災などに活用していくことで、持続可能な地域社会を発展させる重要な活動であり、さらに、5市1町で構成されていることから市単独での廃止・休止等の判断はできない。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>			
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充			
	維 持			レ	
	縮 小				
	休廃止（統合含む）				
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大
コスト投入（予算）の方向性					
(2) 令和 2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	平成31年度定例総会においてジオパークエリアを各自治体全域へ拡大することが決定され、事業量が増加することから、構成自治体に職員派遣を求めてきたが、成しえなかった。引き続き、構成市町へ職員派遣を要請するとともに、構成市町などに業務等への協力や分担を依頼していく。平成31年度に設置した「特定の目的がある分野の調査・研究及び方針検討のための3つのプロジェクトチーム（ガイド養成、エリア拡大、10周年記念事業）」を活発に動かし、課題の解決や組織の活性化に取り組む。また、霧島ジオパークにとって10周年の節目となることから、これまでの活動を振り返るとともに、これからの10年のビジョンを描く。				
(3) 令和 3年度の方向性 (具体的な取組)	ガイド養成及びエリア拡大のプロジェクトチームから示される調査・研究の結果や方針を実際に展開していくなど、持続可能な地域社会の発展に引き続き寄与していく。				

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡 充					
	維 持						
	縮 小						
	休廃止（統合含む）						
		皆 減	縮 小	維 持	拡 大		
コスト投入（予算）の方向性							
(2) 総評							

